

学校教育計画（令和6年度～令和9年度）

学校名	津久井高等学校	課程・学科 教育部門・学部	全日制・普通科及び福祉科
-----	---------	------------------	--------------

1 学校のミッション

複数の学科を併置する全日制高校として、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に定めるため、学年生によるカリキュラム・マネジメントに学校全体で取り組み、学力の育成、豊かな人間性や社会性を培い、社会的・職業的に自立することを目指した学校づくりに取り組む。普通科においては、共通教科・科目を中心に、生徒の特性や地域・学校等との実情を踏まえながら、普通科として適切な教育課程編成を行う。また、専門学科においては、産業の動向等に適切に対応し、福祉に関する専門教科・科目を中心に、専門性の向上を図る教育に重点を置いて、実際の・体験的学習を重視して産業界等との連携をより一層深めるとともに、共通教科・科目の適切な設置に基づいて教育課程編成を行う。

これまで、他者とのかかわりを大切に、共生・協働を実践する社会性豊かな人材に育成をめざして、地域とともに歩み、地域から信頼される学校づくりに取り組んできた。また、生徒個々の学習ニーズに応じたきめ細かい教育を展開し、基礎的・基本的な知識・技能の修得を図り、主体的に学習する意欲を高めるための不断の授業改善を実施するとともに、福祉科においては、介護福祉士養成を主とした福祉教育を展開し、地域のニーズに応じた人材の一層の育成を図る教育活動の充実に取り組んできた。

今後も引き続き、地域から信頼される学校づくりに取り組んでいく。

2 学校教育目標

「地域と共生・協働し、自己実現を達成する生徒の育成」を目指し、「基礎学力を身に付け活用できる生徒」「モラル・マナー・ルールを遵守できる生徒」「コミュニケーション力・行動力を発揮できる生徒」を育てるために、日常の学習活動、学校行事、特別活動、部活動等の学校生活全般で、自らが主体となり取り組むことができるよう、教育課程研究開発校の指定を受けて展開してきた「地域探究」活動等における保護者、地域、外部機関等との連携・協力も強めた教育活動を展開していく。

3 計画策定時点での課題

○ 教育課程・学習指導

基礎学力の定着及び学習意欲の向上に向けて、ICT機器（一人一台端末）の活用と学習状況の把握に資する評価の工夫・改善を図ること。

○ 生活指導・生徒支援

引き続き、基本的な生活習慣の定着を図るとともに、教育相談体制を整備して生徒支援体制を確立していくこと。また、生徒の主体的活動を支援する体制の工夫・改善を図ること。

○ 進路指導・支援

地元・地域と連携・協働する場面も通じて、学校外の教育資源を積極的に活用して生徒の自己実現を図ること。

○ 地域との連携・協働

令和4年度から取り組んでいる「地域探究」活動を引き続き推進し、地元・地域の特色を活かした生徒活動の場の拡充を図って、地元・地域における生徒の学習機会を充実させること。

○ 学校管理・学校運営

防災訓練等の内容を工夫・改善することをとおして、生徒及び職員の防災意識の向上を図ること。また、職員の働き方改革を引き続き推進していくこと。

4 4年間の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の定着及び学習意欲の向上に向けて、ICT機器（一人一台端末）の活用と学習状況の把握に資する評価の工夫・改善を図る。 ・カリキュラム・ポリシーの実現に向けた教育課程のマネジメントを進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTの利用やルーブリック評価の展開も進めて「わかる授業」と「主体的な学習」の取組を推進していく。 ・学習活動における生徒個々の多様な状況への対応について、SC、SSW等と連携を進める。
2	生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒がそれぞれの得意分野で主人公となって学校生活や学校行事に取り組めるような支援体制の充実を図る中で、コミュニケーションする力を育成する。 ・基本的な生活習慣の定着を図り、モラル・マナー・ルールを遵守する心を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育祭や文化祭といった学校行事外の生徒会活動について、生徒会本部役員生徒の学校生活における課題意識等を生徒会活動に具現化していく方策を生徒に働きかけていく。 ・状況に応じて関係機関とも連携した粘り強い指導を継続する（モラル・マナー・ルールの遵守）。
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的かつ継続した指導体制及び支援体制を図り、地元・地域と連携・協働する場面も通じて、学校外の教育資源を積極的に活用して生徒の自己実現を図る。 ・福祉科においては、介護福祉士養成をとおして、福祉を担う有為な人材の育成を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業生からの助言を聞く機会や卒業生が就職している地元企業による説明会、連携先大学との活動等を展開して、地域とのつながりを大切にしながら、全生徒の進路実現に向けての取組を推進していく。 ・福祉科については、専門職としての資質を満たす学習内容を一層充実させていく。
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域探究」活動を推進し、地元・地域の特色を活かした生徒活動の場の拡充を図って、地元・地域における生徒の学習機会を充実させる。 ・学校情報の積極的な発信を図り、地域社会からも理解され愛される学校づくりを推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ルーブリックを使用した指導と評価を導入した探究活動の展開等をとおして、PTAや地域における活動団体等との連携を強化していく。 ・生徒の活動の様子をはじめとした学校の活動情報の発信において、学校HP等の更新・活用を積極的に進める方策を確立する。
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ・「自分の命は自分で守る」防災意識の向上を図るため、防災訓練等の内容を工夫・改善を進める。 ・働き方改革を推進し、生徒と教員が相互に関わる時間を確保していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災教育においては、当事者からの話を聞くことが生徒の意識啓発に有効であったことから、引き続き同様の取組を進めていく。 ・ICT機器の活用方法等のさらなる工夫・改善を追求して、生徒と教員が相互に関わる時間を確保していく。